

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会
平成 29 年度 第 1 回教育研修委員会 議事要旨

日 時: 平成 29 年 4 月 13 日(木) 午前 7 時 00 分～8 時 00 分

場 所: ロイトン札幌 2 階 クリスタル D

出席者: 竹下 克志、矢吹 省司、伊藤 康夫、宮腰 尚久、村上 英樹、田中 信弘、宮崎 正志
(コースマネージ)種市 洋、東野 恒作

コングレ: 黄 智絵、正根知 美和子

欠席者: 高相 晶土、(アドバイザー)吉田 宗人、西良 浩一 (敬称略)

1. 報告事項

(1) 第 15 回研修コースについて

・各コースの概要について、コースマネージより説明があった。

(2) 第 15 回実行予算案

運営事務局(コングレ)より実行予算案【資料 2・3】の説明があり、承認された。

・全体予算は ¥5,475,394

・収入は昨年 10 月 17 日時点での見込みを超える申し込みがあったため、その時点での予算よりも収入が増加。

・支出は受講者が増えた分の経費(クレジット手数料、印刷費、料飲費)などが増加。

・学会からの負担金は 160 万程度になる見込み。

(3) 第 15 回当日スケジュール

・当日のご案内(講師へ送付済)【資料 4】が運営事務局より説明された。

・各コースともに定員まで余裕があるため、当日受付を行う。例年 10 名程度の受付がある。

2. 審議事項

(1) 第 16 回研修コースについて

・運営事務局より会場使用計画案【資料 5】の説明があった。

・竹下担当理事より研修コースと同じ日程にて専門医試験が行われ、約 1000 名が受験する予定であること、また研修コースを行った場合、受講者はもちろん講師の先生方もこの試験を受験できないため、第 52 回日本脊椎障害医学会学術集会(2017 年 11 月 16・17 日:千葉)もしくは第 33 回日本脊髄外科学会(2018 年 6 月 15 日:奈良)でも開催予定の試験で受験していただく必要がある、と説明があった。このため コースはかなり参加人数が減少することが見込まれ、講師の任を引き受けにくい先生も多いのではないか、来年は開催をしないといことも視野にいれ、検討をしたいとの説明があった。

本議題に対し委員より、日程を変更してはどうか、との意見があった。竹下担当理事より、その案も検討したが、翌日開催となると宿泊費や会場費がかかってしまうので、難しいとの説明があった。

矢吹委員長より、安全単位が必要な会員もいるはずなので、開催しない、ということは避けたほうが良い、100 名定員として実際は 30 名でもよいから開催したほうがよいのではないか、と意見があり、開催する方向で承認がなされた。

(2)第 16 回研修コースマネージについて

・コースマネージは以下の通り決定がなされた。コースマネージの先生より講師の先生方のご選出とご内諾をいただいた上で、次回の委員会にてご報告いただくこととなった。

コース:田中 信弘先生

コース:伊藤 康夫先生

コース:西良 浩一先生(東野先生からお伺いいただく)

・講師の先生方には専門医試験の件をお伝えいただいた上で依頼し、依頼状にもその旨記載することが確認された。万が一講師の先生が第 1 回目の試験で不合格になった場合、来年の脊椎脊髄病学会での試験を受験する必要が出てきてしまうが、専門医試験自体は 1 時間程度であり、午後の講義であれば専門医試験は受験できるため、講義の順番を考慮すればよい、との意見があった。

3. 次回委員会日程

・(1)第 2 回教育研修委員会

日時:2017 年 7 月 13 日(木)

第 50 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会開催時

日整会中の教育研修委員会はなしとする

場所:京王プラザホテル

運営事務局から学会事務局に連絡をし、会場を手配いただく。

以上